



社交ダンス教室

なつかしの阿久比展



日時 6月20日(火)~10月10日(火)
場所 町立板山公民館

6月から16回のコースで教室を開催しています。準備運動からタンゴ・ルンバなどの基本ステップ、その後ワルツなども加え徐々にステップアップしていきます。初心者も少し経験のある方も楽しく踊っています。最後は発表会で踊れるようにがんばります。



昭和46年ごろの桜坂(阿久比中学校東)

日時 8月2日(水)~8月16日(水)
場所 中央公民館本館ロビー

明治時代から昭和40年代ごろの町の様子を写した写真展を開催します。100年前の卒業写真やなつかしい小中学校の校舎、伝統行事や現在との比較写真などを展示します。当時の様子を写真で懐かしんでみませんか。

約800年もの間、土の中に埋まっていた壺。現在の私たちに何か語りかけてくるような気がします。



はちがたにこよう たまふちじょうこうえんつぼ
八ヶ谷古窯出土 玉縁状口縁壺

あぐいの村絵図展示

「棕原村」「角岡村」「福住村」編

中央公民館本館1階ロビーで開催

8月2日(水)~8月16日(水)

問い合わせ先 社会教育課 ☎(48)111(内262)

知多半島で焼き物と言えれば何を思い浮かべますか。この地方では常滑焼が全国的にも有名ですね。その昔、阿久比でも焼き物を盛んに作っていたことを知っていますか。昔から知多半島は良質な土が得られることや丘陵地が多かったこと(窯は緩やかな斜面を利用して焼かれました。)から中世(平安時代〜鎌倉時代)には、窯業地帯として全国的に有名でした。

大型の甕や壺は製品として、遠くは青森や鹿児島まで船で運ばれました。阿久比でも町内の丘陵地のいたる場所で中世古窯を確認し、調査をしてきました。出土品には山茶碗、山皿をはじめ、さまざまな押印模様のある甕や壺などが発掘されています。中世の阿久比の人々は農業以外にも窯業を生業にして生活していたことが分かります。

子どもに伝えたい
あぐいのむかし

3